

海のマーケットを活用する 地域活性化施策について



株式会社潮風ホールディングス

東京都中央区日本橋室町1丁目11番12号 日本橋水野ビル7階

山出潤一郎 mail: jun@zukan.com

海から、 地域を元気にする。

港から始まる、
地域活性化の新しい仕組み

本資料は、海のマーケットが地域にもたらす効果を、
行政の視点で整理した補足資料です。
漁業者の所得向上を入口に、
来訪創出・地域消費・関係人口・未利用魚活用までを示します。



所得向上



来訪創出



地域経済循環



関係人口



未利用魚活用



港を『通過点』から『目的地』へ

その土地ならではの体験が、地域の魅力になる。

海のマーケットは、港に『買いに行く理由』をつくり、飲食・宿泊・観光への自然な流れを生み出します。



港には、人が集まる力があります。

今ある資源を活かす

新しい施設ではなく、今ある魅力を活かす。

海のマーケットは、港・魚・人・宿泊・飲食・加工といった既存資源をつなぎ直し、地域の魅力として見せる仕組みです。



港



漁船



魚



漁業者



民宿



飲食店



加工場



キャンプ場



1. つなぎ直す

港・魚・人・食・宿・加工など、
点在する資源をつなぎ直す。

2. 見せ方を変える

地域の魅力を、体験・ストーリー・
デザインでわかりやすく見せる。

3. 売り方を変える

オンライン・EC・直販・連携販売で、
持続可能な収益につなげる。



小さな町でも始めやすい、地域密着型の活性化モデル。

未利用魚・低利用魚を地域資源へ

知られていない魚が、新しい価値になる。

市場では評価されにくい魚でも、伝え方・食べ方・加工によって、地域の魅力や商品価値へと変わります。



魚の価値を見つけ、つなぎ、育てることで、海から地域に仕事が広がる。

一度の来訪が、滞在と消費を生む

魚を買いに来た人が、地域に滞在する人になる。

海のマーケットは、港に「買いに行く理由」をつくり、飲食・宿泊・観光への自然な流れを生み出します。



民宿

地元の温かいおもてなしで滞在をサポート。



キャンプ場

自然を満喫できるアウトドア体験を提供。



飲食店

地魚や郷土料理で地域の味を提供。



温泉施設

旅の疲れを癒し、滞在の満足度を向上。



スーパー

地元食材やお土産を手軽に購入。



一度の来訪が、滞在と消費を生み、再訪につながる。



港から始まる地域経済循環 一度の来訪が、地域全体へ広がる。

港を訪れた人は、魚を買うだけではありません。食事をし、買い物をし、宿泊し、地域の人と出会います。



海のマーケットは、港を起点に地域の中でお金が回るきっかけをつくります。

関係人口を育てる

何度も訪れる人が、 地域の力になる。

魚の購入を入口に、地域を知り、また訪れ、
応援してくれる人へと関係が深まっていきます。

1 来訪者

魚を買いに来る



2 リピーター

旬の魚を
楽しみに来る



3 ファン

漁業者や地域を知る



4 応援者

人に紹介する



5 地域サポーター

継続的に地域と関わる



再訪と共感が、地域に長く関わる人を育てる。

行政にとっての意義

小さく始めやすく、地域全体に波及しやすい。

海のマーケットは、既存資源を活かしながら、所得向上・地域内消費・関係人口・未利用魚活用を同時に進められる、実行しやすい地域活性化モデルです。



01 既存資源を活かせる

港・漁港、既存イベント、店舗、宿泊施設など、地域にある資源をそのまま活用できます。



02 所得向上につながる

水揚げ・販売・加工・観光など多様な収益機会を生み、漁業者や事業者の所得向上に寄与します。



03 地域内消費が広がる

食や体験を通じて地域内の回遊と消費を促進し、商店・飲食・宿泊などへの波及が広がります。



04 関係人口を育てる

来訪者やファンが繰り返し訪れるきっかけとなり、関係人口・リピーターの増加につながります。



05 未利用魚・低利用魚の活用

これまで流通しにくかった魚を新たな価値として提供し、フードロス削減と資源の有効活用を同時に実現します。

行政の進め方（実施の流れ）



1 地域と連携する

漁業者・事業者・住民等と対話し、共通の目的と体制をつくります。



2 小規模実証から始める

小さく試し、効果や課題を検証しながら、成功パターンをつくります。



3 段階的に広げる

効果の高い取組を横展開し、地域全体へ波及させます。



港から始まる、地域密着型の活性化モデル。

